

令和元年8月1日

長野県知事 阿部守一様

豚コレラの感染拡大防止に向けた
経口ワクチン散布に対する緊急要望書

長野県市長会
長野県町村会

日頃、地方自治の推進、地域振興に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、県内で豚コレラに感染した野生イノシシが相次いで確認されていることを受け、長野県市長会及び長野県町村会では、別紙事項について要望することで意見が一致いたしました。

つきましては、要望事項の実現に向け、特段の御理解を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年8月1日

長野県知事

阿 部 守 一 様

長野県市長会会長

長野市長 加 藤 久 雄

長野県町村会会長

長和町長 羽 田 健一郎

昨年、岐阜県で野生イノシシから豚コレラが発生し、県内では今年の7月13日に、木曾町で感染した野生イノシシが初めて確認されました。その後、野生イノシシの豚コレラ感染が、県内で相次いで確認されたことから、長野県におきましては、7月19日に野生イノシシへの経口ワクチンの緊急散布を木曾町及び木祖村において、また、22日には根羽村及び平谷村で実施していただきました。更には、感染拡大防止のため、29日に松本地域、上伊那地域及び諏訪地域でも緊急散布を行うとともに、8月下旬からは、南信州地域、上伊那地域及び松本地域まで、本格的な散布の実施が予定されていると伺っております。

このように、監視強化区域については、豚コレラのまん延を防止し、養豚場への感染リスクの低減を図るため、野生イノシシへの経口ワクチンの散布を緊急に実施していただいておりますが、この区域外につきましても、野生イノシシの豚コレラの感染拡大が懸念されており、猟友会や畜産農家から、適切な予防対策の実施について、多くの声が寄せられております。

つきましては、下記のとおり、経口ワクチンの散布に関し、県市長会及び県町村会として早急かつ一層の対策の強化について要望するとともに、野生イノシシへの感染対策強化等により、飼育豚への感染拡大防止対策や予防対策につきましても、これまで以上にご支援いただけるよう要望します。

なお、県市長会及び県町村会といたしましても、県が実施する豚コレラ対策の取組について、一層の連携、協力を図ることといたします。

記

- 1 感染拡大防止対策として、監視強化区域内全域に、できる限り早期に野生イノシシに対する経口ワクチン散布を実施すること。
- 2 予防の一層の強化を図るため、監視強化区域外へも速やかに経口ワクチンの段階的な散布を実施すること。